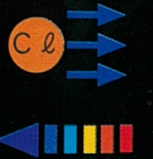


デンカのリノベーション

デンカテクノクリートシステム

劣化コンクリート再生保護システム



DENKA
RENOTEC
CO.,LTD.

Denka
DENKA KABUSHIKI KAISHA

株式会社デンカリノテック

本 社 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-5-11 ユニ日本橋本町一丁目ビル6F TEL.03-5290-5362 / FAX.03-5290-5093
大阪営業所 〒530-0017 大阪市北区角田町8番1号 梅田阪急ビルオフィスタワー 25F TEL.06-7176-7485
名古屋営業所 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南1-24-20 名古屋三井ビルディング新館6F TEL.052-571-4514
新潟事務所 〒950-0087 新潟市中央区東大通1-3-10 三井生命ビル5F TEL.025-243-4103
町田試験室 デンカ株式会社 インフラソリューション開発研究所内 〒194-8560 東京都町田市旭町3-5-1 TEL.042-721-3660
青海試験室 デンカ株式会社 青海工場内 〒949-0393 新潟県糸魚川市大字青海2209 TEL.0255-62-6306
大阪試験室 〒561-0841 大阪府豊中市名神口3-10-5 TEL.06-6333-7717

<http://www.denka-renotec.co.jp>



迫りくるコンクリートクライシスに対する決定打。コンクリートをまるごとリフレッシュする、デンカテクノグリーシステム。

電気化学的コンクリートリハビリテーション技術

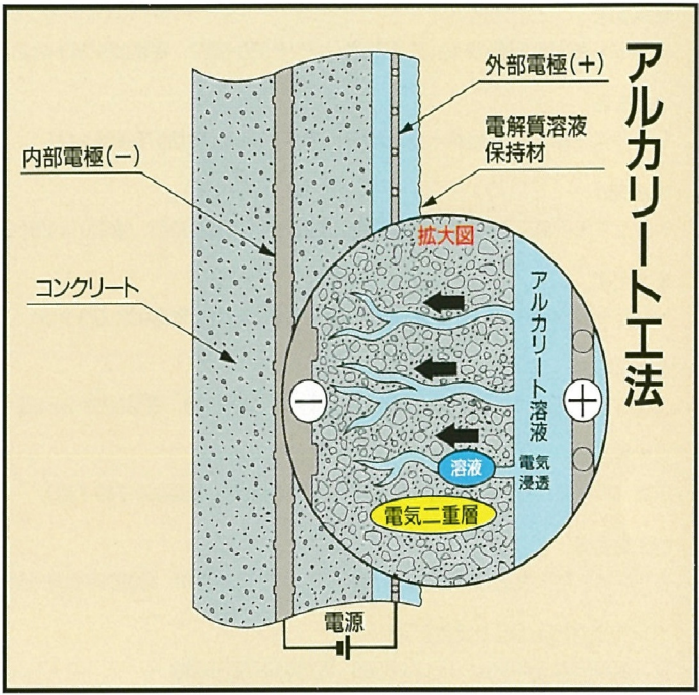
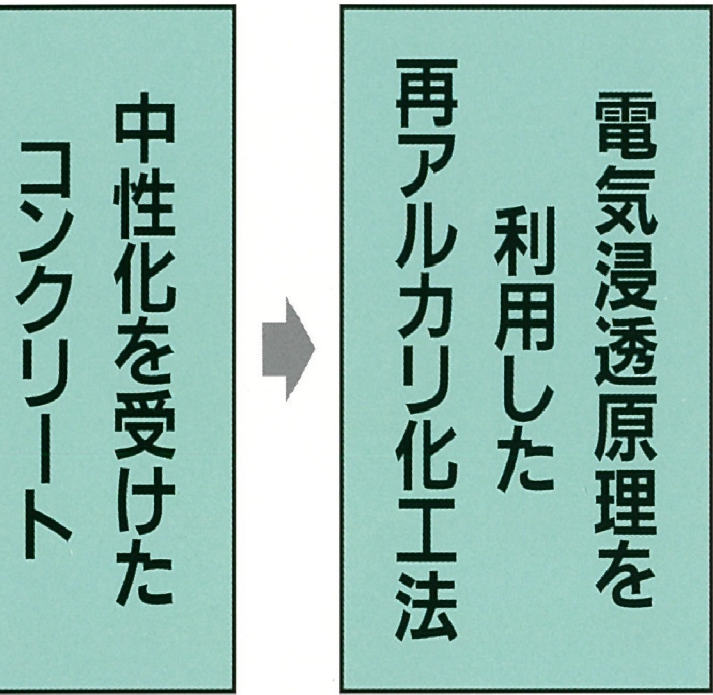
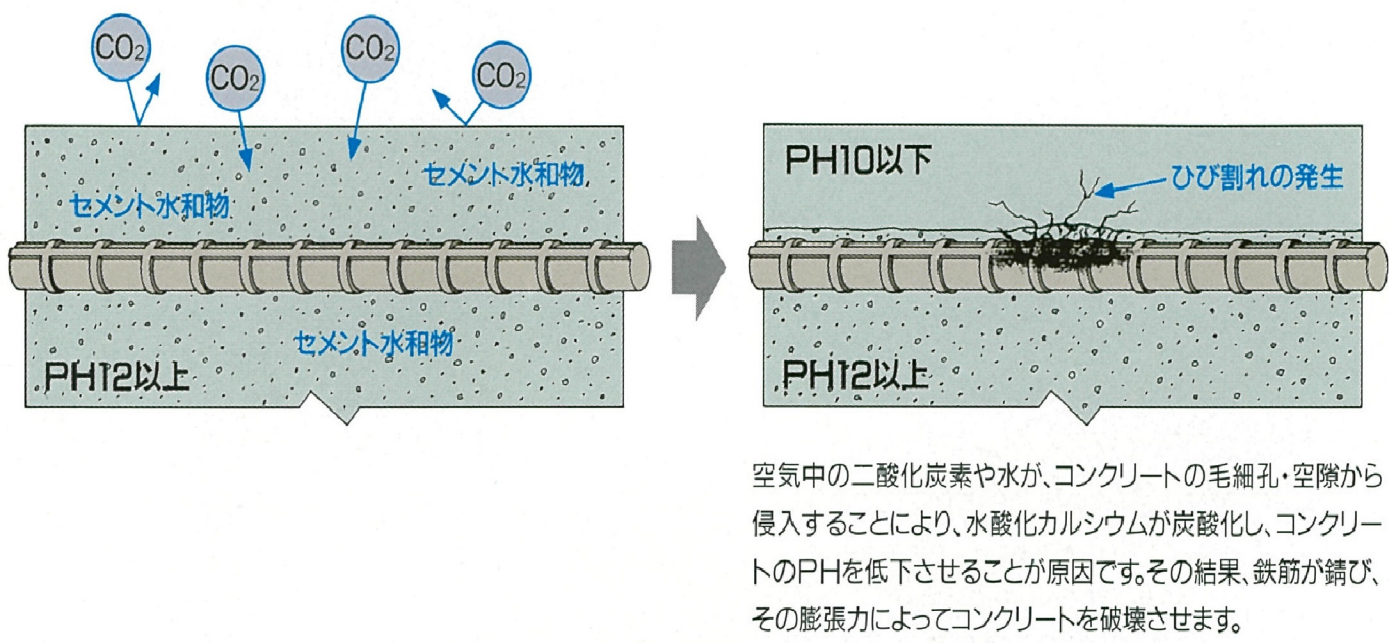
- 《特長》
- ① 短期間(1～8週間)で処理可能。
 - ② ほぼ非破壊で処理が可能。
(仮設材は処理後撤去)
 - ③ 処理効果を施工後すぐに確認できる。

コンクリートクライシスが叫ばれだして久しい昨今、各方面でコンクリート構造物の劣化が現実のものとなりつつあります。コンクリートのリフォームに関していえば従来の破壊工法が主流であり、コンクリートそのものの再生を目的とした補修工法の決定打がありませんでした。

デンカテクノグリーシステムはまさしく、コンクリートの再生を確実にしたコンクリート劣化再生の決定打となり得る工法です。コンクリートメンテナンスの未来を築くデンカテクノグリーシステム是非御検討下さい。

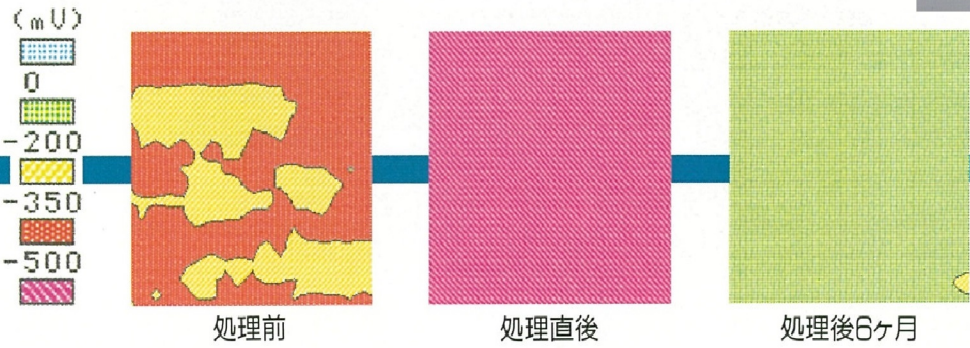
1.コンクリートの劣化現象

中性化

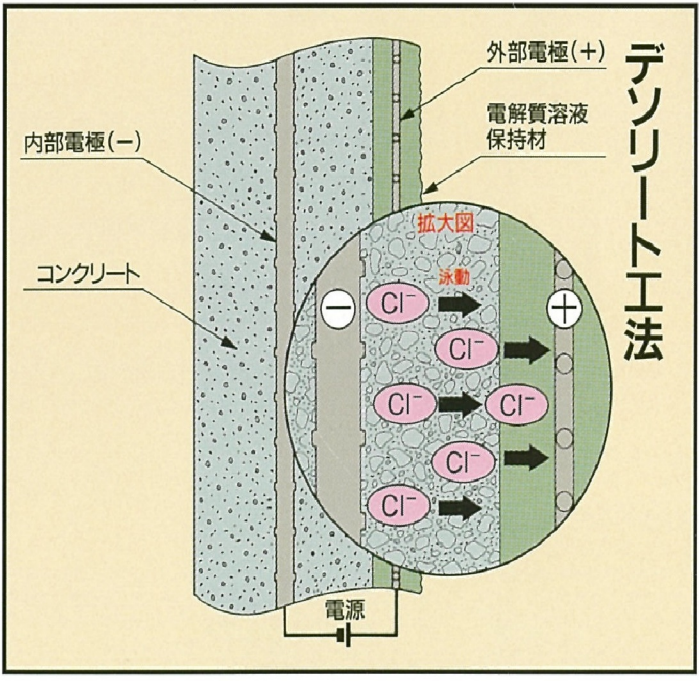
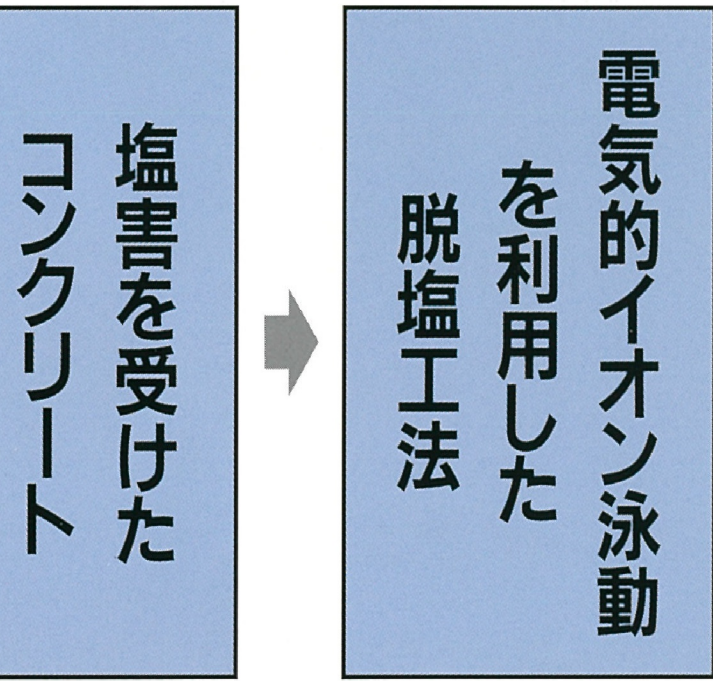
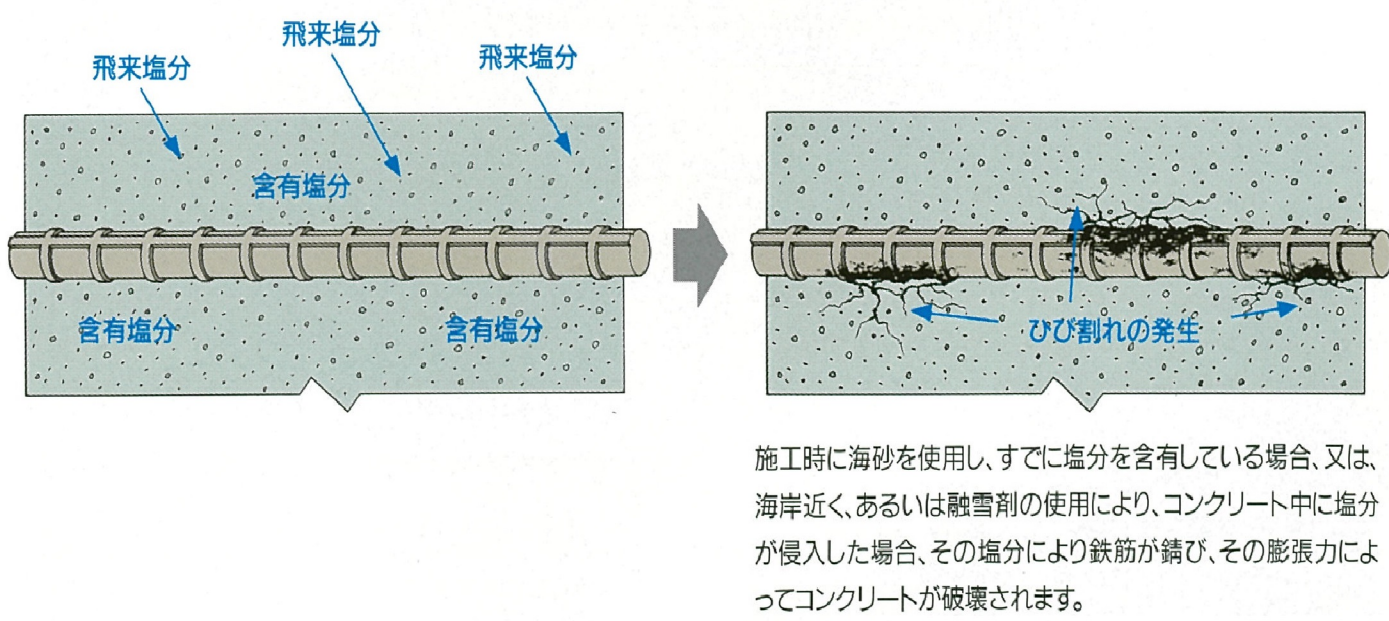


2.デンカテクノグリーシステムの原理

アルカリート工法は、中性化したコンクリートに電気化学的にアルカリを再付与し、再生化する補修工法です。左図の様に仮設した、外部電極と内部鉄筋の間に所定の電流密度で、直流電流を流します。コンクリートの微細な空隙内部は電気二重層を形成しており、直流電流の流れに敏感に反応します。空隙内部表面の液体は電氣的に⊕に帯電しており、図の様に通電する事により、陰極側(内部鉄筋)に移動を開始します。この電気浸透の原理を利用し、仮設電極側から特殊アルカリ溶液を浸透させ、コンクリートを再アルカリ化させます。



塩害



デソリート工法は、塩害により劣化したコンクリート構造物から塩分を除去し、電気化学的に再生させる方法です。左図の様に塩分を含有するコンクリート構造物中の内部鉄筋を陰極とし、コンクリート表面に陽極となる外部電極を取付けます。両極間には所定の電流密度の直流電流を流します。コンクリート中では塩分はCl⁻の塩素イオンとして存在しており、直流電流を流す事により塩素イオンは外部電極側に電氣的に拡散泳動します。これによりコンクリート内部の塩分はコンクリート外に排出されることになります。排出された塩分は仮設材中に取り込まれます。

